

新春のつどい 【報告】

令和2年1月26日(日) 会場 ローズホテル横浜

= 新春のつどい = 次第

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 開会のことば | 9 若手会員・学生会員紹介、激励のことば |
| 2 新年のあいさつ 会長 | 10 令和2年3月退職予定者紹介 |
| 3 お祝いのことば | 11 支部(支部会員)紹介 |
| 4 来賓紹介 | 12 お年玉抽選会 |
| 5 斉唱 一月一日 | 13 令和2年度友松会総会の案内 県央ブロック |
| 6 鏡開き | 14 師範学校校歌、学生歌(みはるかす) |
| 7 乾杯 | 15 万歳三唱 |
| 8 来賓挨拶 | 16 閉会のことば |

< 懇 談 >

新年のあいさつ(高橋会長) (要旨)

令和になって最初の新春のつどいです。東京オリンピック・パラリンピック開催の記念すべき年の新春のつどいを高木まさき副学長、杉山久仁子教育学部長をはじめ多くのご来賓の皆様、会員の皆様にお集まりいただき挙行できますことを大変嬉しく思います。

昨年5月、2期6年間務めていただいた前任の芦川弘会長の後を引き継ぎ、役員は総入れ替えのような状態で、この8ヶ月新しい活動をして参りました。

スローガンとしては引き続いて「深まろう 高まろう つながる会員 つながる大学」を掲げ、さらに「新しい時代にふさわしい豊かな活動を」というサブスローガンを掲げました。「新しい時代にふさわしい豊かな活動」これは役員で模索しました。昨年10月の横国Dayでは杉山学部長をコーディネータとして、新卒3年目の先生、現役の学生、そして管理職を経験された会員をシンポジストにして「これからの教師を語る」というテーマでシンポジウムをさせていただきました。今年は倍近くの70名を超える参加者で盛り上がりました。当日シンポジストの熱い思いが語られ、会場に集まられた方々のお話もあわさって、終わった後のアンケートの中には、ぜひこうした会を来年以降も続けて欲しいという要望がたくさん寄せられました。是非来年以降につなげていきたいと思っております。



高橋会長挨拶

一方、昨年4月は学生会員が初めて社会に出る節目の時期でした。友松会が、今後どれだけ継続して活動を充実させていくかは、新しい会員の皆様の意欲、関心にかかっていると思います。今日この会に、大学を卒業して3年以内の会員の方が8名参加してくださっています。そのうち7名は去年の4月に就職された方です。若い人たちがこの新春のつどいに参加してくださっている、今後繋がる嬉しい思いをしております。

一方、友松会には事業の見直し、経理の改善、組織の見直し等たくさんの課題がございます。昨年11月から、その改善のための諮問委員会を石川正先生に委員長をお願いをして開催させていただいております。今後、友松会がより充実し、現場にあった、しかも将来の展望にあった組織でいられるよう諮問委員会の検討に期待しているところであります。

昨年はラグビーが日本を席卷しました。昨年を代表する言葉として「ワンチーム」が選ばれたのも記憶に新しいところです。「ワンチーム」。言葉では簡単ですが、いざ達成するとなると大変難しいです。やり遂げてしかも成果を上げなければいけない。一朝一夕で達成できることではございません。友松会も今ワンチームになることが求められています。

横浜国立大学のさらなる発展と教育学部の充実・存続、一般社会や教育界からの評価を向上させ、校友会や他学部同窓会とも連携して、国大卒業生として胸を張って社会にアピールできるようワンチームで努力したいものです。

本日の新春のつどいがそのスタートを確かめ合う会になりますよう心から願っております。

お祝いのことば ご来賓代表



高木副学長挨拶

横浜国立大学副学長高木まさき様、名教自然會会長永井孝雄様、校友会会長蛭田史郎様より来賓代表祝辞を頂戴しました。

「令和3年をめざし教職大学院を60名規模にしようとしている」「大学を横断するようなプ

ログラムを全学的に走らせていく」といった大学の取り組みを、また「教員の採用率は低いけれども合格率は高い」といった現状を紹介されました。また、永井様からは、「友松会は130年を超える一番古い、すばらしい同窓会」「三同窓会の力を合わせて大学を盛り上げていきたい」と同窓会連携による大学支援についても話されました。蛭田様からは、校友会の設立の背景と産学連携のお話をいただきました。



永井孝雄様挨拶



蛭田史郎様挨拶

《 懇 親 会 》

ご来賓の横浜国立大学教育学部長・友松会名誉会長杉山久仁子様、参議院議員那谷屋正義様のご挨拶。8名(うち7名は昨年4月に就職)の若手会員紹介、支部紹介と続き、今年は外れなしのお年玉抽選会。学長賞(長谷部学長筆ラベルの酒「横浜国大」)、学部長賞、会長賞等に一喜一憂後歓談、次期総会案内、恒例の師範学校校歌、学生歌の合唱、万歳三唱で閉会。令和初の新春のつどいは、154名の会員の出席で盛会となりました。



若手会員の紹介



鏡開き



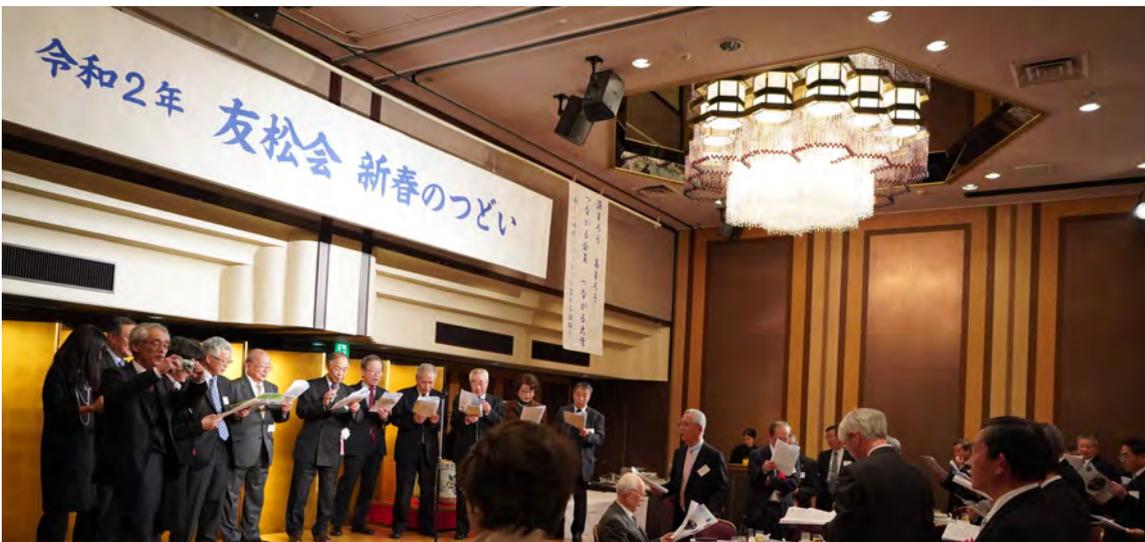
支部紹介



お年玉抽選会



次期総会開催案内 県央ブロック



神奈川師範学校校歌・学生歌合唱